

令和5年度 家庭科【家庭基礎】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 家庭科

教 科	家庭	科 目	家庭基礎		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共 通
教 科 書	家庭基礎 気づく力築く未来 (実教出版)				
科目目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 2 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 3 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				

各単元における評価の規準＜1学期＞

単 元	第1章 これからの人生について考えてみよう	
評価期間	4月～5月	
単元の目標	・人の一生について、様々な生き方があることを理解するとともに、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人の一生について、様々な生き方があることを理解するとともに、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考查 ・確認問題	

思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容

単 元	第2章 自分らしい生き方と家族	
評価期間	5月	
単元の目標	・生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことについて問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。 ・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・確認問題	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第6章 食生活をつくる	
評価期間	6月	
単元の目標	・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、環境に配慮した食生活及び食文化の継承を考慮した献立作成について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・健康や環境に配慮した食生活について持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、食生活と	

	健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、環境に配慮した食生活及び食文化の継承を考慮した献立作成について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	・健康や環境に配慮した食生活について持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、ライフステージに応じた食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・確認問題	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

各単元における評価の規準＜2学期＞

単 元	第6章 食生活をつくる	
評価期間	7～9月	
単元の目標	・食品の栄養的特質や調理上の性質、おいしさの構成要素や、食品衛生、健康や環境に配慮した食生活について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 ・食の安全や食品の調理上の性質について持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・食品の調理上の性質、おいしさの構成要素や、食品衛生について理解している。 ・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。	・食の安全や食品の調理上の性質について持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして解決する力を身に付けて	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとし

	いる。	ている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・確認問題	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	
評価期間	7～9月	
単元の目標	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
思考・判断・表現	・家庭科ノート・記録用紙の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・記録用紙の記述内容	

単 元	第3章 子どもとかかわる	
評価期間	9月	
単元の目標	・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解している。 ・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。	・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・確認問題	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第4章 高齢者とかかわる 第5章 社会とかかわる	
評価期間	10月	
単元の目標	・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 ・高齢者の自立生活を支え、家族や地域及び社会の一員として共に支えあって生活するために果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表	

	現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活、共生社会と及び福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	・高齢者の自立生活を支え、家族や地域及び社会の一員として共に支えあって生活するために果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活、共生社会及び福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・確認問題	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第7章 衣生活をつくる	
評価期間	10～11月	
単元の目標	・ライフステージに応じた被服の機能と着装、被服材料、被服構成及び被服衛生について理解するとともに、被服の計画・管理、衣生活の自立、目的に応じた着装に必要な技能を身に付ける。 ・被服の機能性や快適性、健康や環境に配慮した衣生活について持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・ライフステージに応じた被服の機能と着装、被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理、衣生活の自立、目的に応じた着装に必要な技能を身に付けている。	・被服の機能性や快適性、健康や環境に配慮した衣生活について持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・確認問題	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

各単元における評価の規準＜3学期＞

単 元	第8章 住生活をつくる	
評価期間	12～1月	
単元の目標	・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や持続可能な住生活を営むために環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や、持続可能な住生活を営むために環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けて	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。

	いる。	
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 確認問題	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・ 振り返りシートの記述内容	

単 元	第 9 章 消費行動を考える 第 10 章 経済的に自立する	
評価期間	2 ～ 3 月	
単元の目標	・ 自立した生活を営むために必要な家計の構造や生活における経済と社会のとの関わり、家計管理、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みなどについて理解するとともに、生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の管理や自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 ・ 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに生活情報を適切に収集・整理できる。	・ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	・ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の管理や自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	に付けている。	
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・確認問題	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・家庭科ノート・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・家庭科ノート・ワークシートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	